二〇〇九年度　推薦入学試験　（A日程①）

国　語

〔注　意　事　項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子は25ページ、解答用紙はマーク・シート1枚です。監督者の指示に従って確認してください。
3. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. マークは、マーク・シートに記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
5. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
6. 監督者の指示があってから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。
7. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

国語

（60分　100点）（解答番号 1 ～ 42 ）

第一問　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（50点）

世の中の人は私の述懐を馬鹿々々しいと思うに違いない。何故なら妻の死とはそこにもここにも倦きはてる程夥しくある事柄の一つに過ぎないからだ。そんな事を重大視する程世の中の人は(1)カン散でない。それは確かにそうだ。然しそれにもかかわらず、私といわず、お前たちも行く行くは母上の死を何物にも代えがたく悲しく口惜しいものに思う時が来るのだ。世の中の人が無頓着だといってそれを恥じてはならない。(2)それは恥ずべきことじゃない。私たちはそのありがちの事柄の中からも人生の淋しさに深くぶつかってみることが出来る。小さなことが小さなことでない。大きなことが大きなことでない。(3)それは心一つだ。

何しろお前たちは見るに痛ましい人生の芽生えだ。泣くにつけ、笑うにつけ、面白がるにつけ淋しがるにつけ、お前たちを見守る父の心は痛ましく傷つく。

然しこの悲しみがお前たちと私とにどれ程の強みであるかをお前たちはまだ知るまい。私たちはこの［(4)］のお蔭で生活に一段と深入りしたのだ。(5)私共の根はいくらかでも大地に延びたのだ。人生を生きる以上人生に深入りしないものは災いである。

同時に私たちは自分の悲しみにばかり(6)ヒタっていてはならない。お前たちの母上は亡くなるまで、金銭の累いからは自由だった。飲みたい薬は何でも飲む事が出来た。食いたい食物は何でも食う事が出来た。私たちは偶然な社会組織の結果からこんな特権ならざる特権を(7)キョウ楽した。お前たちの或ものはかすかながらU氏一家の模様を覚えているだろう。死んだ細君から結核を伝えられたU氏があの理智的な性情を有ちながら、宗教を信じて、その御祈禱で病気を癒そうとしたその心持ちを考えると、私はたまらなくなる。薬がきくものか祈禱がきくものかそれは知らない。然しU氏は［(8)］のだ。然しそれが出来なかったの

だ。U氏は毎日下血しながら役所に通った。ハンケチを巻き通した喉からは皺嗄れた声しか出なかった。働けば病気が重る事は知れきっていた。それを知りながらU氏は御祈禱を頼みにして、老母と二人の子供との生活を続けるために、(9)勇ましく飽くまで働いた。そして病気が重ってから、なけなしの金を出してして貰った古賀液(注1)の注射は、田舎の医師の不注意から静脈を外れて、激烈な熱を引き起こした。そしてU氏は無資産の老母と幼児とを後に残してその為に斃れてしまった。その人たちは私たちの隣りに住んでいたのだ。何という運命の皮肉だ。お前たちは母上の死を思い出すと共に、U氏を思い出すことを忘れてはならない。そして(10)この恐ろしい溝を埋める工夫をしなければならない。お前たちの母上の死はお前たちの愛をそこまで拡げさすに十分だと思うから私はいうのだ。

十分人世は淋しい。私たちは唯そういって(11)澄ましている事が出来るだろうか。お前達と私とは、血を味わった獣のように、愛を味わった。行こう、そして出来るだけ私たちの周囲を淋しさから救うために働こう。私はお前たちを愛した。そして永遠に愛する。それはお前たちから親としての(12)報シュウを受けるためにいうのではない。お前たちを愛する事を教えてくれたお前たちに私の要求するものは、ただ私の [(13)] を受け取って貰いたいという事だけだ。お前たちが一人前に育ち上がった時、私は死んでいるかも知れない。一生懸命に働いているかも知れない。(14)老スイして物の役に立たないようになっているかも知れない。然し何れの場合にしろ、お前たちの助けなければならないものは私ではない。お前たちの若々しい力は既に下り坂に向かおうとする私などに煩わされていてはならない。斃れた親を喰い尽くして力を貯える獅子の子のように、力強く勇ましく私を [(15)] 人生に乗り出して行くがいい。

今時計は夜中を過ぎて一時十五分を指している。しんと静まった夜の沈黙の中にお前たちの平和な寝息だけが幽かにこの部屋に聞こえて来る。私の眼の前にはお前たちの叔母が母上にとて贈られた薔薇の花が写真の前に置かれている。それにつけて思い出すのは私があの写真を撮ってやった時だ。その時お前たちの中に一番年たけたものが母上の胎に宿っていた。母上は自分でも分からない不思議な望みと恐れとで始終心をなやましていた。その頃の母上は殊に美しかった。希臘の母の真似だといって、部屋の中にいい肖像を飾っていた。その中にはミネルバ(注2)の像や、ゲーテや、クロムウェル(注3)や、ナイティンゲール女史やの肖像があ

った。その少女じみた野心をその時の(16)私は軽い皮肉の心で観ていたが、今から思うとただ笑い捨ててしまうことはどうしても出来ない。私がお前たちの母上の写真を撮ってやろうといったら、思う存分化粧をして一番の晴れ着を着て、私の二階の書斎に這入って来た。私は寧ろ驚いてその姿を眺めた。母上は淋しく笑って私にいった。産は女の出陣だ。いい子を生むか死ぬか、そのどっちかだ。だから死際の装いをしたのだ。――その時も(17)私は心なく笑ってしまった。然し、今はそれも笑ってはいられない。

深夜の沈黙は私を厳粛にする。私の前には机を隔ててお前たちの母上が坐っているようにさえ思う。その母上の愛は遺書にあるようにお前たちを護らずにはいないだろう。よく眠れ。(18)不可思議な時というものの作用にお前たちを打任してよく眠れ。そうして明日は昨日よりも大きく賢くなって、寝床の中から跳り出して来い。私は私の役目をなし遂げる事に全力を尽くすだろう。私の一生が如何に失敗であろうとも、又私が如何なる(19)ユウ惑に打ち負けようとも、お前たちは私の足跡に［(20)］何物をも見出し得ないだけの事はする。きっとする。お前たちは私の斃れた所から新しく歩み出さねばならないのだ。然しどちらの方向にどう歩まねばならぬかは、かすかながらにもお前達は私の足跡から探し出す事が出来るだろう。

小さき者よ。不幸なそして同時に幸福なお前たちの父と母との祝福を胸にしめて人の世の旅に登れ。前途は遠い。そして暗い。然し恐れてはならぬ。恐れない者の前に道は開ける。

行け。勇んで。小さき者よ。

（有島武郎『小さき者へ』による、一部改変）

〔注1〕古賀液――北里研究所内科部長の古賀玄三郎が、結核治療剤として創始した新剤「チアノクプロール」の別称。

〔注2〕ミネルバ――ローマ神話で、工芸・芸術・知恵などをつかさどるとされた女神。

〔注3〕クロムウェル――イギリスの軍人・政治家。（一五九九～一六五八年）

問1 傍線番号(1)・(6)・(7)・(12)・(14)・(19)と同じ漢字を使う語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選んでマークしなさい。 **1** ～ **6**

(1) カン散 **1**

① 雑誌が廃カンになる
② カン静な住宅街
③ カン容の精神
④ 制限をカン和する
⑤ カン気扇を回す

(6) ヒタって **2**

① 床上までシン水する
② 他国にシン略する
③ 食欲を増シンする
④ 身に感じる地シンが続く
⑤ シン酸をなめる

(7) キョウ楽 **3**

① キョウ威を与える
② 望キョウの念をいだく
③ 視力をキョウ正する
④ 有名作家がシナリオをキョウ作する
⑤ 祖母はキョウ年八十歳でした

(12) 報シュウ **4**

① 野次の応シュウ
② 日本語にシュウ熟する
③ シュウ着心が強い
④ 用意シュウ到
⑤ 領シュウ書を受け取る

(14) 老スイ **5**

① 自スイ生活をする
② 名演奏に心スイする
③ スイ直線を引く
④ 国家スイ亡の危機
⑤ 二人の関係を邪スイする

(19) ユウ惑 **6**

① 異文化がユウ合する
② ユウ久の昔
③ 大事故をユウ発する
④ 一喜一ユウする
⑤ 一刻のユウ予もならない

問2 傍線番号(2)「それは恥ずべきことじゃない」の「それ」は何を指示しているのか。その内容として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **7**

① 人生は悲しいことばかりだと思うこと
② 人生をたいしたことはないと無頓着に過ごしていくこと
③ 母の死を悲しくて口惜しいと思うこと
④ 母の死をどこにでもある事柄に過ぎないと思うこと
⑤ 母の死について世の中の人が無頓着であること

問3 傍線番号(3)「それは心一つだ」とは、どういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **8**

① それが小さなことか大きなことかは、心の中では同じことになる
② それが小さなことか大きなことかは、心の中の葛藤(かっとう)によって決められる
③ それが小さなことか大きなことかは、相手の心の持ちようで変わる
④ それが小さなことか大きなことかは、その時の心の状態に応じて決まる
⑤ それが小さなことか大きなことかは、自分の心がそれをどうとらえるかで決まる

問4　空欄番号 (4)・(8)・(13)・(15)・(20) に入る語句として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選んでマークしなさい。 9 ～ 13

(4) 9

① 俗事
② 混乱
③ 損失
④ 拒絶
⑤ 無意識

(8) 10

① 医者の薬が飲みたかった
② もっとありがたい御祈禱を受けたかった
③ 休暇をとりたかった
④ 家族の力を信じたかった
⑤ 老母と子供二人のそばにいたかった

(13) 11

① 承諾
② 感謝
③ 願望
④ 未練
⑤ 後悔

(15) 12

① 引っ張って
② 補いとして
③ 師と仰いで
④ 振り捨てて
⑤ 養うものとして

(20) 13

① 愛すべき
② 畏怖（いふ）すべき
③ 不純な
④ 感嘆すべき
⑤ 貪欲（どんよく）な

問5 傍線番号(5)「私共の根はいくらかでも大地に延びた」とは、どういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **14**

① 私共の生き方は、いくらかでも、強さを感じることのできるものになった
② 私共の生活は、いくらかでも、悲しみを共有したものになった
③ 私共の生活は、いくらかでも、世の中の人より幸福なものとなった
④ 私共は、いくらかでも、人生に悲しみを感じることができるようになった
⑤ 私共は、いくらかでも、人生をより深く生きることができるようになった

問6 傍線番号(9)・(11)の本文中における意味として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選んでマークしなさい。 15 ・ 16

(9) 勇ましく飽くまで 15

① 貧しさに耐えて、必死に
② 心を奮い立たせて、最後まで
③ 何事にも積極的に、あきれるほど
④ 何も恐れることなく、あきるほど
⑤ いやになるほど、がむしゃらに

(11) 澄ましている 16

① すっかり忘れてしまう
② 是か非かをはっきりさせる
③ その場を一応とりつくろう
④ それにはかかわりがないというそぶりをする
⑤ よそ行きの表情をする

問7 傍線番号⑽「この恐ろしい溝」とは、どういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **17**

① 隣同士なのに、片方は薬餌（やくじ）療法をとり入れ、もう片方は家族への愛によって病気を治そうとしたという事実

② 隣同士なのに、片方は金銭的に恵まれていたので働かず、もう片方は生活に窮していたので一生懸命働きながら治療したという事実

③ 隣同士なのに、片方は何の不自由もなく治療ができ、もう片方は自らを犠牲にして働かなければならなかったという事実

④ 隣同士なのに、片方はいい腕を持った医師に診てもらい、もう片方は田舎の医師にしか診てもらえなかったという事実

⑤ 隣同士なのに、片方は生活のすべてを病気との闘いに費やし、もう片方は治療のため信仰にのめりこんでしまったという事実

問8 傍線番号⑯「私は軽い皮肉の心で観ていた」とあるが、「私」はどうしてそのような心で観ていたのか。その理由として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **18**

① 希臘の母の真似をすればいい子が産めるという妻の西洋かぶれが、不快なものに思えたから
② 歴史上の偉人たちにあやかっていい子を産みたいという妻の望みが、大それていて無邪気なものに思えたから
③ いい子が産めるかどうかという妻の悩みが、あまりにも行きすぎていて馬鹿らしく思ったから
④ 部屋の中に飾っていた肖像がとても少女趣味的なものばかりで、古風な妻の人柄には不似合いだと思えたから
⑤ いい肖像を飾ればいい子を産めると単純に信じている妻の姿が、少女のように頼りなく危うげに見えたから

問9 傍線番号⑰「私は心なく笑ってしまった」とあるが、「私」はどうして心なく笑ったのか。その理由として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **19**

① 初の出産を前にして心を悩ませていた妻を励ましたくて、彼女の冗談に合わせようと思ったから
② 写真を撮るというだけで、子供のようにはしゃいでいる妻の姿が、とてもほほえましく思われたから
③ その時の妻の姿や言葉遣いがとても芝居がかっていたので、わざとらしくて滑稽（こっけい）に感じられたから
④ 初の出産を控えた妻の心情が十分に理解できず、彼女の姿や言葉が大げさすぎると思ったから
⑤ 美しく優しい女性であると思っていた妻が、その時に限っていかにも威張っているように感じられたから

問10 傍線番号⑱「不可思議な時というものの作用にお前たちを打任してよく眠れ」とあるが、この文の意味として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **20**

① 幼い者たちよ、子供のお前たちには関係なく進む時を気にかけず、ゆっくりと眠れ
② 子供のお前たちは、時がたつのも忘れて寝込んでいるが、そのまま明日まで熟睡せよ
③ お前たちよ、小さなお前たちを打ち負かそうとする時を乗り越えて、十分な眠りをとれ
④ あらゆる生命をおし流す時にさからって、人生をはじめようとするお前たちよ、今はひたすら眠れ
⑤ 日々成長していくお前たちよ、何事にも左右されず進む時に身をまかせて、ぐっすりと眠れ

問11　この文章の内容と一致するものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 21

① 「私」の子供たちは、「私」と同じように、その母親の死をこの上なく悲しく思っている
② 「私」の子供たちは、母親の悲しみというものを身近に感じて育ってきた
③ 「私」は、子供たちがその母親の死を、逆に糧として立派な人間になってもらいたいと思っている
④ 「私」は、子供たちが「私」と母親を手本にして、立派に育ってほしいと思っている
⑤ 「私」は、子供たちが「私」を喰い尽くして、「私」とは違う立派な人間になってもらいたいと思っている

第二問　次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。（50点）

言葉づかいが適切かどうかの判断は、結局それまでに出あった文例の記憶によるのです。人間は人の文章を読んで、文脈ごと言葉を覚えます。だから、多くの文例の記憶のある人は、「(1)」という判断ができます。

よい行動をしていきたいと思う人は、よいことをした人の話を聞いて見習うでしょう。同じように、鋭い、よい言葉づかいをしたいと思う人は(2)森鷗外、(3)夏目漱石、(4)谷崎潤一郎とか、現代だったら誰(だれ)でしょうか、言葉に対して(5)センスが鋭い、いわゆる小説家・劇作家・詩人・歌人たち、あるいは適切な言葉を使って論文を書く学者、そういう人たちの作品・文章を多く読んで、文脈ごと言葉を覚えるのがよいのです。

(6)骨董(こっとう)の目キきになるためには、よい物を、まず一流品を見続けなければだめだといいます。一流品を見ていては(7)。文章もそれと同じです。よいと思われるもの、心をひくものを見馴(みな)れているうちに、ああ、これは雑だなとか、ここはおかしいなとか気づくようになる。自分を引きつけるものはその人にとってよいものなのです。だから、自分を引きつけるものを熟読して、それをいっそう鋭く深く受け取るようにすること。次に、よい文章といわれるものを読んで、どこが違うか、どちらがよいかを自分の目で判断すること。

ときには、「新しい言葉」をつくる人もいます。新しい言葉をつくろうと、現在は落語家や漫才師、あるいはコピーライターが(8)しのぎを削っています。戦後にアジャパーだとかトンデモハップンだとか、一時は流行する表現がつくられました。その大部分は一〇年もたたずに消えました。(9)それはつくられたものの底が浅かったのです。

久米正雄が「微笑」でもない「苦笑」でもない笑いを表現したいと思って「微苦笑」という新語をつくった。この単語は現在、和英辞典にも項目として立っています。これは人間社会にある一つの事実を的確にとらえて言語化したから、社会に存在を認められたのです。「わざと変な言葉」を使うと、その場だけは面白(おもしろ)がられたりするでしょう。それと社会で存在権を認められる単語とは別です。

人間の行為・行動に、社会のいろいろな状況に応じて新しい行動が出てくるように、(10)必要から新しい言葉が出てきます。それがいい言葉かどうかを感じる鋭い感覚が必要です。そこで必要なことはまず区別できる単語の数を増やすこと。自分が区別して使える語彙が多くなくては、ぴったりした表現ができない。

自分の語彙を増やすことに関しては、小説家とか(11)歌ヨみたちなどは、みんな非常な苦心をしています。例えば、(12)与謝野晶子と(13)か斎藤茂吉などの歌人は、辞書を読んでいって単語を(14)ヒロったようです。井上ひさしさんは、辞書をたくさん買って頭からそれを読むようですし、大江健三郎さんは、あの堅牢な製本の『広辞苑』を三冊取り替えたという噂です。『広辞苑』はそう簡単にはこわれない。だから、大江さんがいかに辞典を引いたか分かります。普通の人間は、せいぜい五、六万語知っていれば多い方でしょう。しかし、彼は二〇万語の日本語を(15)消化しようとしたように見えます。しかも覚えた単語をそのままは使わない。大江さんには『万延元年のフットボール』とか『芽むしり仔撃ち』とか、普通にはない単語の組み合わせがあるでしょう。それは単語そのものではなくて、(16)単語の組み合わせ方において新しくしようとしたのでしょう。

よい言い方、よくない言い方の問題として、「見れる」とか「起きれる」とかの(17)「ラ抜き言葉」が問題にされることがあります。ラ抜き言葉をとがめだてするのも一つの言語感覚です。しかし「見れる」「起きれる」は可能動詞というべきもので、江戸時代に「書かる」から新たに「書ける」という、古典語にはなかった可能動詞がつくられて、今は普通に行われていることを思えば、日本人の意識には「可能動詞」を欲する根源的な欲求があり、それに応えるように新形ができる。その(18)一カンとして、「見れる」「起きれる」が数十年前から方言的に生じてきたわけで、それが今や広く使われるにいたった。(19)私はこれを使いませんが、この発達は日本語としては［(20)］動きで、止めることはできないでしょう。

人の話す言葉のどれが正しいとするかは、なかなかむずかしいことです。それはどこに基準点をおくか、いつの時代、どこの言葉を規準とするかによります。どれが正しいかというところに(21)フみこむと、保守的な態度の人、新しいことを好む人、いろいろあって、その人の人生や世界に対する考え方が言葉の選択の上に出てきます。今から何千年も昔の楔形文字を解読したところ、「［(22)］」とあったそうです。言葉は人間の行為だから、保守的、［(23)］的という相違があるのは当然です。

私が「単語に敏感になろう」、「違い目について感覚のある人間になりましょう」と言っていることに注意して下さい。言葉をどう使うかは、その人が保守的な態度をとるのか、新しい態度をとるのかによって違う。それはその人その人なのです。これだけが正しい言い方だなどと簡単にはいえない。「言葉の違いに敏感になろう」。鈍感ではだめです。「ちっとも」と「さっぱり」は違うのか、違わないのか。「お客がちっとも来ない」と「お客がさっぱり来ない」とをくらべると、「さっぱり」には店主の期待はずれの感じがあるなと思うか思わないかです。

(24) 単語を的確に使うということで、大事なことが一つあります。例えば「臆病な人」を「慎重な人」といったら、それは不的確ということになるでしょう。しかし、「臆病」と「慎重」とではまったく別の言葉で間違えようはありません。不的確な表現になった原因は単語にはなく、事実を見る眼が曇っているのです。ほんとうは「臆病」なのに、それを「慎重」な態度だというのは、あるいは真実を避けて表現しているのかもしれません。「臆病な政治家」を「あの人は臆病だ」とはっきりと表現するのは、単に言葉に敏感になるだけでなく、事実そのものをよく見る眼と心とが要ることです。はっきり見てきちっと表現する心がまえがなくては、言葉を的確に運用できないのですね。

（大野晋『日本語練習帳』による）

問1 空欄番号 (1) ・ (22) に入る文として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選んでマークしなさい。 **22** ・ **23**

(1) **22**

① 話に脈絡がない
② こんな言い方はしない
③ すばらしい言葉である
④ 単語の違いが鮮明でない
⑤ 内容の正しい文章ではない

(22) **23**

① 書き言葉と話し言葉が同一になっている
② このごろの若者の言葉づかいが悪くて困る
③ 正しい言葉が最後には生き残る
④ 正しい言葉を使う人が徐々に増加している
⑤ 話す言葉の数が段々と増えてきている

問2 傍線番号(2)「森鷗外」・(3)「夏目漱石」・(4)「谷崎潤一郎」のそれぞれの作品の組み合わせとして、正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **24**

① (2) こころ (3) 阿部一族 (4) 文章読本

② (2) 大塩平八郎 (3) 春琴抄 (4) 道草

③ (2) 刺青 (3) 行人 (4) 山椒大夫

④ (2) 彼岸過迄 (3) 高瀬舟 (4) 細雪

⑤ (2) 雁 (3) 明暗 (4) 痴人の愛

問3 傍線番号(5)・(8)・(15)の本文中における意味として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤のうちからそれぞれ一つずつ選んでマークしなさい。 **25** ～ **27**

(5) センスが鋭い **25**

① 使用の適否を判断する力がすぐれている
② きちんとした分別を持って考えられる
③ すぐれた良識を働かせることができる
④ 冷静な意識で区別することができる
⑤ こまやかな心の働きがすぐれている

(8) しのぎを削って **26**

① もてあまして
② 知恵を出しあって
③ はげしく争って
④ 苦労をして
⑤ いろいろな試みをして

(15) 消化しようとした **27**

① 仕事として処理しようとした
② 全部そのまま受け入れようとした
③ 自分の役目として残さず読もうとした
④ 十分理解して自分のものにしようとした
⑤ 理解しやすいように変化させようとした

問4 傍線番号(6)・(11)・(18)と同じ漢字を使う語、傍線部(14)・(21)の漢字と同じ音読みの漢字が含まれる語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選んでマークしなさい。 **28** ～ **32**

(6) 目キき **28**

① すべての単位をリ修する
② 赤リにかかる
③ 人心がリ反する
④ 脳リにひらめく
⑤ リ己主義

(11) 歌ヨみ **29**

① エイ住の地
② 時代を反エイする
③ 受賞のエイ誉に浴する
④ ヒロインに作者の姿が投エイされる
⑤ 高らかに朗エイする

(18) 一カン **30**

① カン頭を飾る文章
② 日本統計年カンで調べる
③ 血液の循カン
④ 領土を返カンする
⑤ 往復書カン

(14) ヒロった **31**

① 授与
② 去就
③ 特殊
④ 捨象
⑤ 応召

(21) フみこむ **32**

① 隠匿
② 途上
③ 舞踊
④ 没頭
⑤ 半導体

問5 空欄番号 (7) ・ (20) ・ (23) に入る語句として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選んでマークしなさい。 **33** ～ **35**

(7) **33**

① あてがはずれる
② 心が悪くなる
③ ずれが生じる
④ ねらいをはずす
⑤ 目がだめになる

(20) **34**

① 現代的な
② 自然な
③ 偶然の
④ 好ましい
⑤ 有意義な

(23) **35**

① 普遍
② 拡大
③ 改新
④ 反動
⑤ 解放

問6 傍線番号(9)「それはつくられたものの底が浅かったのです」とあるが、これは「新しい言葉」の持つどのような特徴について言っているのか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **36**

① 「新しい言葉」は、定着させるためのたゆまぬ努力が中途半端に終わると、いつのまにか消えてしまう

② 「新しい言葉」は、それをつくり出すとき頭の中でよく練り上げていないと、一時的に流行しても長続きせずに消えてしまう

③ 「新しい言葉」は、社会の事象や人間の気持ちに深く立脚してつくられたものでない限り、いずれ消えてしまう

④ 「新しい言葉」には、その場限りの受けねらいでつくられた変な言葉が多いので、広く使われることなくやがて消えてしまう

⑤ 「新しい言葉」は、次々とつくり出されているので、あまり面白がられないものは生き残れずに消えてしまう

問7 傍線番号⑽「必要から新しい言葉が出てきます」とは、どういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **37**

① 社会のいろいろな状況の変化に応じて、人間の行動などもさまざまに変化していくため、それらを的確に表現しようとして新しい言葉が生まれてくる

② 社会のいろいろな状況の変化に応じて、人間は新しい行為・行動をするようになるため、言葉を話すという行為も新しいものに変わっていくようになる

③ 社会のいろいろな状況の変化に応じて、表現すべき事柄が増えるため、それらを正しく表現する手段としての言葉をより多く覚える必要が生じてくる

④ 社会のいろいろな状況の変化に応じて、人間のありようは変わっていくものであり、言葉を選択する感覚の上にも新しい変化が出てくる

⑤ 社会のいろいろな状況の変化に応じて、人間は変化する必要があり、人間の行為・行動を表すものとしての言葉も新しいものにしていく必要がある

問8　傍線番号⑿「与謝野晶子」・⒀「斎藤茂吉」について述べた文として正しいものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 38

① 与謝野晶子と斎藤茂吉は、ともに浪漫派の代表的歌人である
② 与謝野晶子は『源氏物語』の、斎藤茂吉は『蜻蛉日記』の現代語訳に取り組んだ
③ 与謝野晶子は『新古今和歌集』の、斎藤茂吉は『万葉集』の評釈を行った
④ 与謝野晶子は『明星』に短歌を発表し、斎藤茂吉は『アララギ』の編集にたずさわった
⑤ 与謝野晶子の代表作は『みだれ髪』、斎藤茂吉の代表作は『野菊の墓』である

問9　傍線番号⒃「単語の組み合わせ方において新しくしようとした」とは、どういうことか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 39

① 新しい単語同士を組み合わせることにより、自分の感覚をより新鮮に表現しようとした
② 通常では誤りとされるような単語の組み合わせで、非現実的な世界をつくり出そうとした
③ 今までになかったような組み合わせで単語を結びつけることで、言いたいことを表現しようとした
④ 日本語の枠をこえるために、奇抜な単語同士を組み合わせるという新しい試みをした
⑤ 単語の組み合わせを不可解なものにすることで、逆に言葉の正しい規準を示そうとした

問10 傍線番号⑰「ラ抜き言葉」とあるが、いわゆる「ラ抜き言葉」に該当するものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **40**

① 会える　② 行ける　③ 帰れる　④ 来れる　⑤ 走れる

問11 傍線番号⑲「私はこれを使いません」とあるが、なぜ「私」はこれを使わないのか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **41**

① 人が話す言葉のどれが正しいか正しくないかの判断基準は、人それぞれの人生観や世界観によって違ってくるものであり、「私」の言語感覚では、この言い方はとがめだてすべきものに思えるから

② 時代的な変遷と社会状況の変化に応じて新しい言葉が生まれ、広く使われるようになってきたが、「私」はこういう言葉づかいを正しくないと思っているから

③ それがいい言葉かどうかを感じる鋭い感覚を身につける努力もせず、無批判に使用する人が増えることによって、このような言い方が広まっていくことに「私」は危惧（きぐ）の念を抱いているから

④ 言葉が人間の行為である以上、時代の流れや社会状況によって変化していくことは避けられないが、「私」個人としては自分が育った時代環境や好みなどから使いたくないと思っているから

⑤ 「ラ抜き言葉」は元来方言的に生じたもので、「私」は、言葉を的確に運用するために、方言的表現よりも標準的表現を旨とすべきだと思っているから

問12 傍線番号㉔「単語を的確に使うということで、大事なことが一つあります」とあるが、「大事なこと」とは何か。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。 **42**

① 言葉の違いに敏感で、選択する言葉の数を豊富に持っていること

② 先入観などを持たずに、見たことをそのまま表現する単語の選択を心がけること

③ 意味がはっきりとしている単語を選択し、真実を避けずに表現しようと心がけること

④ 言葉の細部にとらわれることなく、事実に即した表現をしようと努力すること

⑤ 事実を明確に見極めて判断し、きちっと単語を選んで表現しようと心がけること